

平成 28 年度 調査結果と授業改善のポイント〔中学校・英語〕

英語については生徒の平均正答率が 55.1%であり、全国平均を 6.7ポイント下回っている。
 領域では「読むこと」が 8.0ポイント、評価の観点では「言語や文化についての知識・理解」が 7.1ポイント出題形式では「選択式」が 6.9ポイント下回り、課題が見られる。

対象生徒数	設問数	平均正答率 (県) %	平均正答率 (全国) %	全国との差
843人	35問	55.1	61.8	-6.7

種別		対象 設問数	平均正答率 (県) %	平均正答率 (国) %	全国との差
領域	聞くこと	10	68.2	73.8	-5.6
	読むこと	12	55.5	63.5	-8.0
	書くこと	13	44.6	51.1	-6.5
単元等	リスニング (内容理解)	6	76.5	82.3	-5.8
	リスニング (対話文の応答)	4	55.7	61.0	-5.3
	語形・語法の知識・理解	4	62.5	71.1	-8.6
	語彙の知識・理解	4	44.0	49.5	-5.5
	さまざまな英文の読み取り	4	47.9	55.8	-7.9
	長文の読み取り	4	56.1	63.6	-7.5
	単語の並びかえによる英作文	4	53.7	61.0	-7.3
	場面に応じて書く英作文	2	15.6	22.6	-7.0
3文以上の英作文	3	52.7	59.1	-6.4	
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	20	58.1	64.0	-5.9
	外国語表現の能力	5	38.7	45.5	-6.8
	外国語理解の能力	18	61.0	67.5	-6.5
	言語や文化についての 知識・理解	12	53.4	60.5	-7.1
解答形式	選択式	20	66.1	73.0	-6.9
	短答式	9	44.8	51.3	-6.5
	記述式	6	33.9	40.3	-6.4

【領域・単元ごとの定着状況】

○: 全国正答率を上回っている問題 (上位3題)
 ▼: 全国正答率を下回っている問題 (下位3題)
 < >内の数値は県の平均正答率
 ()内の数値は県と全国の平均正答率の差

〈聞くこと〉

- ▼絵を適切に表している英文を聞き取る設問 (大きさの比較) <65.8> (-13.6)
- ▼英文の要点を聞き取る設問 (日程) <52.3> (-10.7)
- ▼対話の内容を聞き取り、適切に回答する設問 (いつとたずねられて) <69.4> (-5.8)

〈読むこと〉

- ▼英文と資料の情報・条件をもとに、相手の意向に適切に応じる設問 <30.2> (-13.5)
- ▼語形・語法の理解をはかる設問 (接続詞 if) <58.0> (-13.3)
- ▼語形・語法の理解をはかる設問 (There are~.の文) <51.5> (-12.1)
- ▼対話の流れとグラフから、適切な発言を判断する設問 <66.3> (-12.1)

〈書くこと〉

- ▼英文を正しい語順で書く設問 (have to を用いた文) <65.0> (-9.5)

- ▼対話の流れに合った英文を書く設問（いた場所をたずねる） <20. 6> (-7. 6)
 ▼英文を正しい語順で書く設問（不定詞の副詞的用法を用いた文） <41. 2> (-7. 5)

【授業改善のポイント】

〈聞くこと〉

□まとまりのある英文を聞いて、要点を聞き取る活動の重視

- ・内容を聞き取るためのポイントとなる事柄を明確にし、それらを意識させながら英文を聞き取る活動を取り入れる。
- ・聞き取った事柄について内容を確認するため、Q&A (Yes-No Question, 5W1H) や T/F Question などの活動を取り入れる。

〈読むこと〉

□まとまりのある英文から大切な部分を読み取り、情報を整理したり、内容をまとめたりする活動の重視

- ・時を表す言葉や代名詞が表すものや文章構成など、内容を読み取るためのポイントとなる事柄を明確にし、それらに意識させながら英文を読む活動を行う。
- ・読み取った内容を確認する活動では、Q&A (Yes-No Question, 5W1H) や T/F Question や要約の空所補充など英語を用いて行う活動や図や表などで整理する活動を取り入れる。答え合わせの際には、テキストを読み直して答えとなる根拠を確かめる学習活動を取り入れる。

〈書くこと〉

□意思や考えを英語で書いて相手に伝える活動の重視

- ・コミュニケーションのための言語活動として、具体的な場面設定をし、時系列に英語で書いて説明したり、あるテーマについての自分の考えや気持ちを複数の英文で書いて表現したりする活動を単元目標に設定して実践する。その際、書いて表現するための英文のモデルを提示しそれを活用させたり、メモすることで表現する内容を整理させたりする学習活動を段階的に取り入れる。
- ・読み取った内容や聞き取った内容に対して、情報を整理したり、自分の考えを書いたりする複数の技能を統合した活動を取り入れる。

〈言語・文化についての知識・理解〉

□文法と言語活動を一体化して行う指導の重視

- ・言語材料の定着のための言語活動と、自分の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーションのための言語活動の両者が相互補完的に機能するようにバランスよく配置し、話したり聞いたりしたことを書くことによって表現できる力を育成する。

【正答率の高い設問】上位3題

No	設問の内容	正答率 (%)
1	絵を適切に表している英文を聞き取る設問（動作）	97. 4
2	対話の内容を聞き取り、適切に応答する設問（昼食を提案されて）	89. 1
3	英文の要点を聞き取る設問（所属）	88. 8

【正答率の低い設問】下位3題

No	設問の内容	正答率 (%)
1	対話の流れに合った英文を書く設問（手段・方法をたずねる）	10. 6
2	単語を正しく書く設問（different）	12. 0
3	メールの内容を踏まえて、メール文を書く設問	12. 5

【無解答率の高い設問】上位3題

No	設問の内容	無解答率 (%)
1	対話の内容を聞き取り、資料を基に英語で答える設問	53. 3
2	対話の流れに合った英文を書く設問（手段・方法をたずねる）	50. 3
3	対話の流れに合った英文を書く設問（いた場所をたずねる）	44. 6